

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成26年度】

(③駐車・駐輪施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川駅北第1、駅北第2、駅南自転車等駐車場		担当課名	商工観光課
区分		内容・説明			
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市自転車等駐車場条例			
	(2)施設設置目的	掛川駅周辺における自転車等の利用者の利便性に資するとともに、自転車等の駐車秩序の確立を図るため			
	(3)施設が有する設備、機能の概要	駅北第1	1,210台(鉄骨造2階建)		
		駅北第2	240台		
		駅南	421台	3施設合計	1,871台
	(4)施設建設年度	昭和63年3月開業(新幹線新駅開業と同時)			
	(5)耐震性能の有無	有(※建物は駅北第1のみ)			
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)				
	(7)指定管理者名	小笠山麓開発株式会社			
	(8)指定期間	平成24年 4月 1日 から 平成27年 3月31日 まで			
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営			
(10)自主事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり	<input checked="" type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
(11)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり	<input checked="" type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務)		<input type="checkbox"/> 提出なし		
(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり	<input checked="" type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)		

区分		H24実績	H25実績	H26実績	H27当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	-	-	530,000	530,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	542,518	534,347	534,587		
	内訳 (施設・設備ごと)	駅北第1	323,365	311,934	315,071		
		駅北第2	82,366	81,570	78,005		
		駅南	136,787	140,843	141,511		
区分		H24実績	H25実績	H26実績	H27当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					かけがわ街づくり(株)	※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		22	22	24		
	(3)運営日数		366	365	365	365	
	(4)運営人員	①正規職員	2.0	2.0	2.0	2.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	3.0	3.0	3.0	3.0	

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	8,150,000	8,150,000	8,150,000	8,150,000	
	②印刷費	1,000,000	1,300,000		1,300,000	
	③通信費	5,000	5,000	1,000	5,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	100,000	100,000	1,100,000	170,000	
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	2,507,000	2,332,000	3,326,000	3,037,000	
	計	11,762,000	11,887,000	12,577,000	12,662,000	
	対前年度増減率		1.1	5.8	0.7	

区分		H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	12,684,000	12,684,000	12,684,000	12,684,000	
	管理補助業務	9,450,000	9,450,000	9,450,000	9,450,000	
	夜間警備	3,150,000	3,150,000	3,150,000	3,150,000	
	消防施設保守点検	84,000	84,000	84,000	84,000	
	②修繕費	50,000	55,000	70,000	55,000	
	③光熱水費					
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
⑦その他(施設消耗品)	200,000	70,000	70,000			
計	12,934,000	12,809,000	12,824,000	12,739,000		
対前年度増減率		△ 1.0	0.1	△ 0.7		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		24,696,000	24,696,000	25,401,000	25,401,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		47.6	48.1	49.5	49.8	
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する		32,364,300	32,274,500	31,694,850		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		275.2	271.5	252.0		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 施設使用料収入	32,364,300	32,274,500	31,694,850	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	24,696,000	24,696,000	25,401,600	
収支差額 a) - b)	7,668,300	7,578,500	6,293,250	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	3	なし
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、未達成 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 駅北第1駐輪場の利用率	80%以上	72.6%	0	
B 駅北第2駐輪場の利用率	80%以上	89.4%	3	
C 駅南駐輪場の利用率	80%以上	90.6%	3	
D 駐輪場内の事故発生件数	10件未満	8件	3	
E 苦情受付件数	10件未満	5件	3	
F 施設の利用台数(台)	530,000	533,501	3	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、達していなければ0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	3	なし
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	施設の形態が古く、入口と通路が狭いことや2Fへのスロープ移動など、高齢者に負担の掛かる作りとなっていることから、事故の危険性は少なからず潜んでいる。建物自体が古いため、改善するには建替えが最良と考えられるが、工事費が莫大であることから中期的な計画に基づいて実施していきたい。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	駐輪場運営自体は民間で実施できる事業であるが、大幅な黒字が確実視できる事業であり、その利益を特別会計や一般会計において様々な予算に充てていることから、行政の関与は必要である。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいいため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	なし
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	27	／33
----	----	-----

V その他自由意見

--